

家畜改良センター十勝牧場



初代場長南澤時義



設立時の牧場事務所(現 牧場診療所)



創設時フランスから導入したイレネー号



現在の事務所

沿革

明治43年(1910年) 十勝種馬牧場として現在地に設立され種馬の改良業務を開始
 大正12年(1923年) 十勝種馬所と改称され道東5支庁を対象とした種付け業務に転換

昭和16年(1941年) 用地内の一部に北海道種馬育成所を設置

昭和21年(1946年) 両機関を統合して十勝種畜牧場と改称

昭和27年(1952年) 種苗課を新設

昭和34年(1959年) 和牛指導課を新設

昭和43年(1968年) 原種検定課を新設

昭和46年(1971年) 経営技術課を新設

昭和57年(1982年) 会計課を新設

平成2年(1990年) 種畜牧場の再編整備により家畜改良センター十勝牧場と改称、種畜関係3課を整備

平成13年(2001年) 独立行政法人化。会計課と庶務課を総務課とし、原種検定課と飼料課を統合。

平成18年(2006年) 組織の見直しに伴い乳用牛及び馬・めん羊業務を業務第二課として統合。

平成22年(2010年) 創立100周年に至る



位置・気候

帯広市の北方約18kmにあつて、北に遠く大雪山系、西南に日高連峰を望む雄大な十勝平野の一角に位置し、用地は標高約100mから220mにわたる平坦部と丘陵台地からなり、四季の変化に富む北海道の典型的な景観を呈しています。

気候については、最も気温の高い8月の平均最高気温は摂氏25.5度と比較的冷涼ですが、日によっては摂氏35度まで上昇することがあり、一方最も気温の低い1月の平均最低気温は摂氏-16.2度と低く、日によっては摂氏-30度以下まで下がることもあります。初霜は9月下旬、晩霜は5月下旬で積雪はむしろ少なく年間降水量は950mm程度です。

当場の用地面積は約4,100haで、そのうち施設用地面積は230ha、飼料生産面積は約1,330ha(うち放牧地420ha)、その他自然野草地、原生林、河川等、約2,270haです。



組織

